

# 第11回 ナラティヴ・コロキウム

オンライン開催

## 「ナラティヴ・アプローチの これまでとこれから」 4つのワークショップ

遠見書房では、毎年3月に「ナラティヴ・コロキウム」というイベントを開催しています。ナラティヴは、横断する概念のためか、なかなか一堂に集まる場がありません。医療、心理、看護、福祉、教育といった対人援助職の方や、社会学、人類学といった異なる分野の方がバラバラにおられるのが現状です。そこで、「みんな集まれば面白いのでは？」という趣旨で、ナラティヴ・コロキウム（略称：ナラコロ）なる集まりを催すことにしました。

ということで始めて早11年。毎回、100名を超える参加者にお集まりいただいております。ナラティヴ研究者、精神科医、心療内科医、歯科医、臨床心理士・公認心理師、看護師、介護士、精神保健福祉士、司法関係の方、ビジネスマンの方まで、さまざまな方が集まっています。

オンライン形式による会になりました。会場は、みなさんの任意の場所（zoomによる勉強会になりますので、インターネットに接続できる環境とデバイスをお持ちであることが必須です）。期間限定の見逃し配信もあります。詳しい情報や申し込み方法に関しては、小社HPをご覧ください。

2023年

3月9日（木）19：30-21：30 ワークショップ①      3月10日（金）19：30-21：30 ワークショップ②  
3月16日（木）19：30-21：30 ワークショップ③      3月17日（金）19：30-21：30 ワークショップ④  
3月18日（土）19：30-21：30 シンポ「ナラティヴ・アプローチのこれまでとこれから」

参加費 全通し 6,800円（税込）（ナラコロ全イベントへの当日参加／見逃し視聴を含みます）

→ <https://tomishobo.stores.jp/items/63a3208ec36dbe3533460537>

バラ売り ワークショップ①～④各回2,000円（税込）／シンポ2,500円（税込）

（お申し込みの各回の当日参加／見逃し視聴を含みます）

2023年3月9日（木）

19：30～21：30 ワークショップ①

栗原幸江さん（公認心理師：マギーズ東京／上智大学／都立駒込病院）

「メディカル・スタッフのためのナラティブ入門」

2023年3月10日（金）

19：30～21：30 ワークショップ②

本間 毅さん（整形外科医：退院支援研究会）

「チーム医療とナラティブ」

2023年3月16日（木）

19：30～21：30 ワークショップ③

松澤和正さん（精神科看護師：帝京大学医療技術学部）

「看護とナラティブ」

2023年3月17日（金）

19：30～21：30 ワークショップ④

坂本真佐哉さん（公認心理師：神戸松蔭女子学院大学）

「ナラティブ・セラピー」

2023年3月18日（土）

13：00～16：00

シンポ「ナラティブ・アプローチのこれまでとこれから」

野口裕二さん（東京学芸大学名誉教授）

安達映子さん（立正大学社会福祉学部）

森岡正芳さん（立命館大学総合心理学部）

**趣旨：**ナラティブ・アプローチのこれまでの展開を総括し、今後の方向性や可能性を展望したいというのが企画の趣旨です。どう総括しどう展望するかは学問領域や職種によっても当然異なってくると思います。今回は、臨床心理学と社会福祉学をそれぞれ代表するお二人をお招きして、たっぷり時間をとって議論ができればと思います。よろしくお願いたします。（野口裕二）

**主催** ナラティヴ・コロキウム実行委員会（事務局：遠見書房内）

**参加費 全通し** 6,800 円（税込）（ナラコロ全イベントへの当日参加／見逃し視聴を含みます）

**バラ売り** ワークショップ①～④各回 2,000 円（税込）／シンポ 2,500 円（税込）

（お申し込みの各回の当日参加／見逃し視聴を含みます）

## 申し込み方法

弊社の販売サイト「遠見書房の書店」<https://tomishobo.stores.jp/> から参加チケットをお買い求めください。

## 参加資格

ナラティヴに関心のある医療職，対人援助職，教育職，研究者，大学／大学院生の方などで，当日に話されたケース等の守秘義務が守れる方。

## 申し込み方法

弊社の販売サイト「遠見書房の書店」<https://tomishobo.stores.jp/> から参加チケットをお買い求めください。

## 演者のご紹介（敬称略）

**2023年3月9日（木）19：30～21：30**

**ワークショップ①「メディカル・スタッフのためのナラティヴ入門」**

**栗原幸江（くりはら・ゆきえ）**

コロンビア大学大学院修士課程修了。Licensed Master Social Worker，公認心理師。がん患者の家族として季羽倭文子先生と出会い緩和ケアの世界へ。緩和／エンドオブライフケア，心理臨床，家族療法，ホリスティックアプローチ等の実践を積み，2002年の静岡がんセンター開設を機に帰国。2012年からがん・感染症センター都立駒込病院に勤務，2016年4月からは認定NPO法人マギーズ東京，2019年4月から上智大学グリーンケア研究所。

**2023年3月10日（金）19：30～21：30**

**ワークショップ②「チーム医療とナラティヴ」**

**本間 毅（ほんま・たけし）**

新潟県生まれ。杏林大学医学部卒。整形外科医・リハビリテーション医。対人援助学会理事，退院支援研究会代表。現在は，新潟県の新発田リハビリテーション病院に勤務。患者・家族の生きざまを感じ，皆にとって幸せな退院支援を考えている。趣味はベンチプレス，アイロンがけ，料理。

2023年3月16日(木) 19:30～21:30

ワークショップ③「看護とナラティヴ」

松澤和正(まつざわ・かずまさ)

埼玉県生まれ。慶應義塾大学大学院工学研究科(修士課程)修了。埼玉県庁、法律事務所を経て、精神科病院勤務。准看護師・看護師資格取得。千葉大学大学院文学研究科(修士課程)修了、同大学院(博士課程)単位取得退学。2004年～2009年国際医療福祉大学保健医療学部・看護学科助教授・教授、2009～2015年千葉県立保健医療大学健康科学部・看護学科教授、2015年より、帝京大学医療技術学部・看護学科教授。

2023年3月17日(金) 19:30～21:30

ワークショップ④「ナラティヴ・セラピー」

坂本真佐哉(さかもと・まさや)

神戸松蔭女子学院大学人間科学部心理学科教授。臨床心理士。公認心理師。日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー。琉球大学法文学部社会学科心理学専攻卒業。九州大学心療内科での研修、小郡まきはら病院や大分医科大学(現、大分大学医学部)での勤務を経て、2001年より現所属、2009年より現職。スクールカウンセリングやひきこもり支援なども実践している。2007年度の1年間はワイカト大学(ニュージーランド)の客員研究員としてナラティヴ・セラピーについて学んだ。

2023年3月18日(土) 13:00～16:30

シンポ「ナラティヴ・アプローチのこれまでとこれから」

野口裕二(のぐち・ゆうじ)

1955年千葉県生まれ。東京学芸大学教育学部名誉教授。専門は臨床社会学、医療社会学。北海道大学文学部卒業、同大学院博士課程単位取得退学。

安達映子(あだち・えいこ)

東京都生まれ。1985年立教大学社会学部卒業。1992年立教大学大学院社会学研究科博士課程前期応用社会学専攻修了。現在、立正大学社会福祉学部教授。

森岡正芳(もりおか・まさよし)

埼玉県生まれ。大阪市内に育つ。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学、博士(教育学)、臨床心理士。現在、立命館大学総合心理学部教授。

## 第11回 ナラティヴ・コロキウム

Narrative Colloquium

#11

